本日の行事予定（2017 年 3 月 24 日）

第 3100 回例会

卓話担当：後藤務君

講　　師：㈱三和スクリーン銘板

ＵＳＡ責任者 戸田アレックス氏

演　　題：「アメリカでの今後の動き」

先回の記録

第 3099 回 '17 年 3 月 17 日（金）晴れ

卓話担当：寺田晏章君

講　　師：野球解説者　犬飼俊久氏

演　　題：「今年のドラゴンズは？」

ストレッチ体操　山田章博君
ロータリーソング　「奉仕の理想」
ソングリーダー　野々山勝也君
ビ ジ タ ー　あまＲＣ次年度会長　立松絹久君
あまＲＣ次年度幹事　田邊正紀君

会員総数	67 名	**2 月 24 日例会分訂正**	
出席免除会員	22 名	**欠 席 会 員**	11 名
本日出席会員	50 名	**MAKEUP 会 員**	7 名
本日の出席率	74.63%	**訂 正 出 席 率**	100%

超 過 出 席　浅井彦治君、伊藤幸蔵君、伊藤誠君、加藤則之君、野々山勝也君、田中正明君、山田勝弘君（親睦活動委員会）

会長挨拶

浅井彦治会長

先日の日経新聞に「覚せい剤押収、最多に」という記事がありました。港や空港で昨年の 3.6 倍の 1.5 トン。密売元は中国が 1 トン 70%、2 位メキシコ、3 位は台湾とのことでした。フィリピンのドゥテルテ大統領の麻薬犯罪への取り締まりについてのニュースもよく聞かれることだと思います。取り扱いには非常に注意が必要であり、社会秩序は大きく損なわれる原因の一つになると思います。

我が国の薬物乱用の歴史は、終戦から 70 年余りがたちましたが、その間、終戦直後の昭和 20 年～30 年代に覚せい剤、ヘロインを中心とする第 1 次薬物乱用期がありました。当時は戦後の混乱期に軍用の薬物（軍事工場や通信業務の徹夜勤務者や特攻隊員の戦闘意欲を出すために使用）が出回り、敗戦の痛手で覚せい剤が広がりました。商品名“ヒロポン（メタンフェタミン）”は覚せい剤の代名詞になっていました。昭和 50 年代には組織暴力団の資金源確保のために密輸した覚せい剤の凶悪犯罪が多発し、一般市民に広がり第 2 次薬物乱用期となりました。

平成に入って 3 度目の覚せい剤乱用者が若者を蝕んでいます。大麻、合成麻薬、危険ドラッグ等で薬物は多様化し低年齢化も進んでいます（京都の小学 6 年生の大麻使用事件）。

およそ乱用薬物とは人の病を癒す薬本来の目的ではなく、その薬を飲まずにいられない状態に容易に陥る薬で、不正な取引の材料として用いられたものです。

「麻薬」「あへん」（原料けし）「覚せい剤」（原料：麻黄）「大麻」（大麻草）「向精神薬」があります。我が国では覚せい剤が一番大きな問題になっていますが、他の物も気は許せません。本来医療用としては疼痛緩和や鎮静作用に非常に有効な医薬品の原料でありますが、使い方で諸刃の剣になってしまいます。

歴史的にも中国の最後の王朝である清（1616 年-1912 年）は中国の統一を果たした王朝ですが、植民地経営に乗り出していたイギリスとの間に起きたアヘン戦争で国力の衰退が激しく、1912 年に滅亡することになったのは有名です。

当時アヘンをめぐって「弛禁論」（高い税金をかけて自国でも生産すればよい）と、「厳禁論」（アヘン吸飲者を死刑にすれば密輸もなくなる）の議論を戦わせていたようですが、結局厳禁論によりアヘン吸引者は死刑をもって臨むことになり、取り締まりによる罰則を死刑にしている国々は多くあります。

現在では危険ドラッグ（麻薬、覚せい剤の化学構造を少しだけ変えた物質が含まれ、その他にも危険な成分が含まれる）による事件が国内に横行しています。以前は海外では「合法ドラッグ」「脱法ハーブ」とか言われて販売されていましたが、国内では所持することも違法になりました。

ただ医療用の麻薬モルヒネの使用量はアメリカは日本の 16 倍と多いことも驚きですが、医薬品としては大変有効なものでもあります。ここでも正確で安全な知識は重要であると思います。

幹事報告

田中正明幹事

- 本日、あまＲＣの立松絹久次年度会長と、田邊正紀次年度幹事においでいただきました。
- 3 月 18 日（土）、名鉄ニューグランドホテルにてＰＥＴＳ（会長エレクト研修セミナー）が開催されます。佐藤敬治会長エレクトと、猪飼充利幹事エレクトが出席します。
- 本日、『ザ・ロータリアン』3 月号を回覧しておりますので、ご覧ください。

ニコボックス報告　第 3099 回分

伊藤哲朗ニコボックス委員長

立松絹久あまＲＣ次年度会長、田邊正紀あまＲＣ次年度幹事　あまＲＣにおいて次年度会長、幹事を務めさせていただきます。本日はごあいさつにうかがわせていただきました。よろしくお願いいたします。

浅井彦治会長　①次年度あまＲＣ立松会長、田邊幹事をお迎えして。②犬飼様をお迎えして。

加藤則之副会長　本日休みますが、心はロータリーですということです。はい。ごめんください。というのはウソで出てまいりました。

田中正明幹事　先日、猪飼君にコーヒーをごちそうになりました。とても美味しかったです。ありがとうございました。

寺田晏章君　卓話を担当します。

三谷栄一君、加藤隆朗君、宅見康悦君　犬飼先輩をお迎えして（東海高ＯＢだぜぃ）。

浅井賢次君、飯村理君、猪飼充利君、伊藤幸蔵君、伊藤哲朗君、伊藤基君、後藤亨君、佐藤敬治君、杁田勝彦君、髙木輝和君、中村陽介君、野々山勝也君、山田章博君、山田勝弘君、山本達彦君、吉田康裕君　あまＲＣの立松絹久次年度会長、田邊正紀次年度幹事をお迎えして。

相羽あつ子君　春になり、子どもたちの新しい世界へ旅立ちの季節になりました。喜びと希望と勇気といろんなものをいだいて広い世界へ飛び立つのでしょうね、皆様おめでとうございます。

後藤亨君　加藤則さん、お世話になりました。

小林啓子君　つたない絵が載りました。搬出、寺田さんにお世話になります。よろしくお願い致します。

横井知代君　啓子先生！　ありがとうございました❤

水野憲雄君　先週休みました。元気です。バンコクより無事帰りました。

山田公男君　ウィークリーに写真が載りましてありがとうございました。

矢田潔君　その他。

卓　話

卓話担当：寺田晏章君
講　　師：野球解説者　犬飼俊久氏
演　　題：「今年のドラゴンズは？」

4 年に 1 度のワールド・ベースボール・クラシック（ＷＢＣ）で、日本・侍ジャパンは、1 次リーグ、2 次リーグとも負けなし、通算 6 連勝でロスアンゼルスでの準決勝へ勝ち進んだ。3 度目の世界 1 なるか、また日本中が沸き立つことでしょう。

（※日本時間 3 月 22 日、ロサンゼルスでのＷＢＣの準決勝で侍ジャパンはアメリカに惜敗、翌日の決勝でそのアメリカが優勝しました……）

日本のプロ野球は、今月 30 日の開幕へ向けてオープン戦終盤に入っている。4 年連続Ｂクラス、去年は 19 年ぶりの最下位のドラゴンズ、果たして今年は？

落合・谷繁両監督のもと、11 年ヘッドコーチを務めた森新監督で巻き返しなるか、新しい顔は、一軍コーチでは土井打撃、森脇守備走塁、奈良原守備走塁、田村バッテリー、選手ではアラウホ、ロンドン両投手、ゲレーロ内野手、新人選手では柳投手、京田内野手らが加入した。

今年のチームスローガンは原点回帰。攻撃では一つでも先の塁を取る、守りでは一つでも先の塁を与えない、基本に戻り 1 点にこだわる野球。スピード感にあふれた野球。解説者の評判も、去年に比べ明るく活気のある野球に代わってきたと、マズマズ。

戦力は、先発もリリーフ陣も、まだ確定しない投手陣、足を使った攻撃をといっても、やはりビシエド、ゲレーロの 2 人のバットにすべてがかかっている攻撃陣、総合力ではやはり苦しいと見ざるをえない。鍵は大野、吉見に続く先発投手は、又吉、若松、鈴木、小熊から誰が。リリーフ陣では岡田、田島につなぐ投手に岩瀬、浅尾の復活があるのか、野手では、5 年目の高橋、新人京田、急成長溝脇ら新しい名前が加わるのか、選手生活をかけての荒木、森野ら名前をあげれば誰でもよいから出てこいですね。去年セ・リーグ優勝の広島は、解説者の予想は最下位がほとんどでした。

半年間 143 試合、何が起こるかわからない。B クラス予想が多いドラゴンズに期待を持って応援を。

その他

立松絹久君

田邊正紀君

あまＲＣの立松絹久次年度会長と田邊正紀次年度幹事です。

加藤則之副会長

山田章博君

野々山勝也君

ストレッチ体操で、すっきり！

第 18 回西尾張ロータリークラブ美術展

3 月 14 日～20 日まで、稲沢市荻須記念美術館にて 18 回目の西尾張ロータリークラブ美術展が開催されました。津島ＲＣとして今年は 3 名 6 点が展示されました。先回の「速報」に続き、4 点を紹介します。

発起人の元稲沢ＲＣ会員・遠藤正昭さんの絵や、2002～03 年度Ｒ財団奨学生としてギリシャのアテネ美術大学に留学した碧亜希子さんのモザイク画もありました。碧(あお)さんは名鉄勝幡駅の若き日の織田信長像『水郷の吉法師』を制作しました。

小林啓子・画(油彩)
「窓辺」

寺田徳子・画(油彩)
「三日月の夜」

平野道夫・画(油彩)
「寒」

平野道夫・画(油彩)
「京都・渉成園」

ゴルフ例会

3 月 23 日(木)、日差しは春めいてきましたが、まだ寒い桑名ＣＣにて開催されたゴルフ会に 12 名が参加、篠田廣君が 3 回目の連続優勝しました。

次回は 4 月 13 日(木)の予定です。

順位	氏　名	OUT	IN	ｸﾞﾛｽ	Hcp	ﾈｯﾄ
優勝	篠田　廣	41	41	82	3	79
2 位	児玉　昭	56	55	111	28	83
3 位	小林啓子	53	53	106	20	86

神野重行ガバナーエレクト講話①

3 月 18 日(土)に開催されたＰＥＴＳ(会長エレクト研修セミナー)での神野重行ガバナーエレクト(名古屋名駅ＲＣ)の講話を抜粋してお知らせします。

【ＲＩ会長テーマ】
ROTARY：MAKING　A　DIFFERENCE
ロータリー：変化をもたらす

【ロータリーの目的】
意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し育むこと。

【ロータリーとは】
・ロータリーとはどのような団体かではなく、何をしているかで定義される
・世の中に良いことをしよう！　それを自分のつとめと信じる人が集まる団体がロータリー
・地域社会と世界に変化を生み出したいという願いをロータリーを通じて実現できるようになった人が集まった組織

【ロータリー奉仕】
・クラブ奉仕・職業奉仕（1905～）
・社会奉仕（1907～）
・国際奉仕（1928～）　・ポリオプラス（1985～）
・青少年奉仕（2007～）

【第 2760 地区の現状】
第 2760 地区は日本で最も活性化している地区で、他地区から注目されている。
・地域レベルでの奉仕活動は活発
・各クラブ内での奉仕活動がクラブ外に伝わっていない
・各クラブへのサポートが弱い
・地域の人々へのロータリー認知度とイメージ向上が乏しい

【ロータリーブランドを広める】
組織としてロータリーとは何か、何をしていて、これから何をするのか＝ロータリーブランドを周りの人々に理解してもらうことが大切。同時にクラブが自分たちのロータリー奉仕を定義して行動に移し、周りを巻き込むことでロータリーブランドを広めることができる。

【2017-18 年度ＲＩメッセージ】
「奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらす」
私たちロータリアンは毎日、毎週、毎年「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくる充実感を得ることができ、生活を楽しむことができる。→真のロータリアン。

【地区方針】
「今日からのロータリーを楽しもう！」
・ロータリアンは絶えず向上意欲を持って日々研鑽に励んでいる人
・その集合体であるクラブも日々より高いロータリーブランドの追求を目指していきたい
・その追求が会員の楽しみとならなければクラブの維持発展はできない

【地区ビジョン】
「10 年後 20 年後も地区の輝きが持続可能であること」この実現には、各クラブが輝いていることが必要。

【地区ビジョン達成のために】
・地区戦略委員会の充実
3 ヵ年戦略計画のモニターと修正
委員長　ガバナー
委員　　パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナー補佐、オブザーバーとして次期ガバナー補佐
・地区研修委員会の強化
クラブ会長の研修の内容充実
ＲＬＩの改革とクラブ戦略委員会の設立サポート
ロータリーの理解とロータリー活動を楽しむための新入会員の研修

【地区方針】
今日からのロータリーを楽しむための行動指針
（昨日までと違うロータリーを楽しむための実践項目）
1. クラブ中期計画策定のためのクラブ戦略委員会の設置
2. クラブと地区の行事への積極的参加
3. 周りへの積極的働きかけ
4. ロータリーファミリーとの活動連携強化
5. 会員増強

次回例会
■3101 回　’17 年 3 月 31 日（金）
卓話担当：前田昭生君
演　　題：「山科言継の日記
『言継卿記』のうち
尾張への下向・滞在を読んで」

お知らせ
■第 2 回次年度役員・理事・委員長会議
と　き：4 月 14 日（金）18：00
ところ：みやこ